みどり野

潟上市立出戸小学校
校報　No.16
令和８年３月９日
文責：佐々木

校　訓「 太陽のように明るく　松のようにたくましく　海のように心豊かに 」
教育目標　「 進んで学び　たくましく　心豊かな子どもの育成 」
目指す子どもの姿　進んで学ぶ子ども　たくましい子ども　心豊かな子ども

****

ありがとう６年生！！

３月３日（火）いつもより慌ただしさを感じた朝。こんな声が聞こえてきました。「昨日、うまくいかなかったんだよ。大丈夫かな。」「６年生喜んでくれるかな。」まもなく、６年生が卒業することは、分かってはいたものの、実際に自分たちが学校を背負っていかなければいけないという不安と緊張が入り混じった５年生の言葉です。

１年生から４年生も、６年生の対しての感謝の気持ちをもちながら、「６年生ありがとう集会」の準備をしていました。準備しながらこんなことをつぶやいていました。

「毎朝、○○さんにおんぶしてもらったんだ。教室に来てくれるの楽しみだったんだ。」「いっつも、○○さんは、朝にやさしく声を掛けてくれたんだ。」「メイト活動のゲームが楽しみだったんだ。」「Ｄちゃんがとってもかわいかったな。」

「学習発表会の出し物がすごかったな。ぼくたちは、あの出し物を参考にしたんだ。」など。

コロナ禍の影響で人とのつながりが大きな課題でしたが、６年生のがんばりが、大きな優しさの輪をつくり上げたくれたようです。

６年生ありがとう集会！！

○○○○さんの司会でスタートした６年生ありがとう集会。○○○○○さんのはじめの言葉には、ぼくたちでつくり上げた感謝の会、この時間だけは、６年生に勉強を忘れて楽しんでほしいという思いが込められていました。

各学年の出し物では、歌やダンス、演奏などで６年生への感謝の気持ちを表していました。学習発表会で身に付けた力を発揮し、自分たちで考え、工夫した出し物を披露していました。

１年生の出し物での最後の言葉「６年生、ずうっとずっと大好きだよ。」という言葉と６年生のためにという一生懸命な姿に、思わず、６年生から涙が・・・。４月当初、１年生の世話をしながら、絆を深めた時間を思い出していたのかもしれません。

始まる前に緊張していた５年生。終了後には、一回り大きく、自信に満ち溢れているように見えました。自分たちでつくり上げることの大変さと充実感、そして、責任の重さを感じることができたようです。これからの新リーダーの活躍が楽しみになりました。

春休みの生活について

６年生は卒業式の翌日から、１～５年生は修了式の翌日から４月６日(月)まで、春休みとなります。

交通安全を心掛け、事故のないよう保護者の皆様からの声掛けをお願いします。また、不審者事案には早急の連絡・対応をお願いします。

また、「学校が変わる・いつもと違う」「学年が上がって勉強が難しくなるので、ついていけるかな」などと心配になりがちです。お子さんの気持ちを受け止めて、温かい声掛けをお願いします。

＜春休みを乗り切る保護者や家族の働き掛け＞

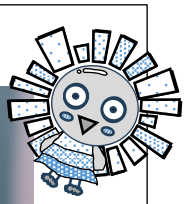
・お子さんの得意な点を認め、伸ばす声掛け
（ついつい、良くない点ばかり指摘しまいがちになってしまうものです。自信をもてるものが一つでもあると強くなれます。得意な点を大いに認めてあげてください。）

・自分の子どもの頃の体験談をする。
（特に、子どもたちが悩んでいそうなことを話すと効果的です。自分も不安だったけれど、こんなふうにして乗り越えた。または、みんなと一緒だから大丈夫だと思ったなど。）

・起床、食事、学習、就寝時刻などへの声掛け
（規則正しい生活のリズムは心の安定につながります。）

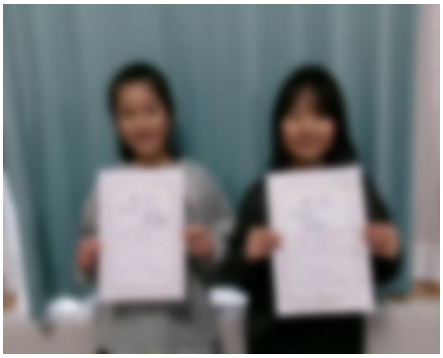
・あいさつ、礼儀の大切さを伝える声掛け
（あいさつ・礼儀は、人間関係を築くためにとても重要です。人とつながる心地よさを感じる体験をたくさんさせてほしいと思います。

★出戸っ子の活躍★



みらいの潟上市の環境を守るための標語
優勝作品賞　６年　○○　○○○
「エコ活動　未来につなげる　第一歩」

Ｕ１０フレッシュマッチ
（女子ミニバスケットボール）
優秀選手賞
４年　○○　○○
４年　○○　○○

第３回鬼神杯フットサルＵ－１２
Friendly リーグ
潟上ＪＦＣ　準優勝
５年　○○　○○　○○　○　出場

４種優秀選手（秋田県サッカー協会）
６年　○○　○○